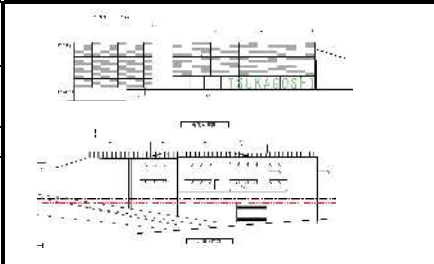


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)所沢市新郷倉庫プロジェクト	階数	地上2F 地下1F
建設地	埼玉県所沢市大字新郷205番3,-5,-	構造	RC造
用途地域	用途地域の指定のない区域、市街	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年2月23日
敷地面積	3,470 m <sup>2</sup>	作成者	清水博
建築面積	1,666 m <sup>2</sup>	確認日	2019年4月22日
延床面積	3,957 m <sup>2</sup>	確認者	清水博



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.4** ★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値: 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 建築物の取組み: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 主要用途である倉庫に見合う設計をしている		
Q1 室内環境 倉庫以外の事務所機能用途部分の居住性が確保されている。	Q2 サービス性能 空間にゆとりのある設計をしている。また、設備の更新への配慮が為されている。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 太陽光発電システムを採用、設備システムの効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 ライフサイクル二酸化炭素の抑制を図っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称)所沢市新郷倉庫プロジェクト**

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>0 建築物の環境品質</b>									<b>2.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>		-				<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15		-				<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40		-				
1.2 遮音		<b>4.2</b>	0.40		-				
1 開口部遮音性能	遮音性能30db以上	<b>5.0</b>	0.60		-				
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	0.40		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-		-				
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20		-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35		-				<b>2.6</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 室温		<b>3.0</b>	0.38		-				
2 外皮性能		<b>3.0</b>	0.25		-				
3 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	0.38		-				
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20		-				
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30		-				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.4</b>	0.25		-				<b>2.4</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 昼光率		<b>3.0</b>	0.60		-				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40		-				
3.2 グレア対策		<b>1.0</b>	0.30		-				
1 昼光制御		<b>1.0</b>	1.00		-				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15		-				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25		-				
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.8</b>	0.25		-				<b>2.8</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 化学汚染物質		<b>3.0</b>	1.00		-				
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30		-				
1 換気量		<b>3.0</b>	0.33		-				
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.33		-				
4.3 運用管理		<b>2.0</b>	0.20		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>1.0</b>	0.50		-				
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50		-				
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>		-				<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.2</b>	0.40		-				<b>2.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>1.6</b>	0.40		-				
1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	0.33		-				
2 高度情報通信設備対応		<b>1.0</b>	0.33		-				
3 バリアフリー計画		<b>1.0</b>	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		<b>2.6</b>	0.30		-				
1 広さ感・景観	天井高さ = 2800	<b>4.0</b>	0.33		-				
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	0.33		-				
3 内装計画		<b>1.0</b>	0.33		-				
1.3 維持管理		<b>2.5</b>	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		<b>2.0</b>	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30		-				<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		<b>3.0</b>	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.4</b>	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	「給水PEP(B)、排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用」	<b>5.0</b>	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.4 信頼性		<b>2.0</b>	0.20		-				
1 空調・換気設備		<b>3.0</b>	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		<b>2.0</b>	0.20		-				
3 電気設備		<b>1.0</b>	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		<b>3.0</b>	0.20		-				
5 通信・情報設備		<b>1.0</b>	0.20		-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.15	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>1.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>1.0</b>	0.40	-	-	<b>1.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.9</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.75	<b>3.5</b>	0.71	-	-	<b>3.5</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.29	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.5</b>	0.60	-	-	<b>2.5</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			1.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCOO2 排出率82%	<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>1.8</b>	0.33	-	-	<b>1.8</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.2</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.1</b>	0.33	-	-	<b>2.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)所沢市新郷倉庫プロジェクト	BEE	0.4	BEEランク
------	-------------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	1.0	=	4.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	3.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
< 配慮した内容を記述 > 太陽光発電システムの採用によるライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
< 配慮した内容を記述 > 特に無し			

 : 入力欄